

1 東条学園小中学校の教育活動

(1) つながりを意識した取組

- ・「一つの学級、一つの集団として学び、ふれあっている姿を見て安心した。」(学習参観後の保護者の感想)
- ・旧東小学校、旧西小学校の子どもが休み時間に打ち解けて一緒に遊ぶ姿があった。教室内でもペア学習やグループ学習など、共に打ち解けて学ぶ姿があった。(学校訪問)
→導入年度までの小小連携の取組の成果
- ・教科の専門性を活かした乗り入れ授業
専門性を活かした授業によって、子どもの学びが深まる。



【1年生入学式】



後期課程教師が
前期課程児童に
授業を行う。

【英語】



専門教科の免許を持つ前期
課程教師が後
期課程生徒に
授業を行う。

【技術】

- ・4・3・2の3つのステージ制※を活かした学校行事

※Ⅰステージ(1~4年生)、Ⅱステージ(5~7年生)、Ⅲステージ(8・9年生)

学園会中央委員が中心となって準備。ステージ制を取り入れた体育大会によって、Ⅰ~Ⅲステージの最高学年4、7、9年生のリーダーシップが発揮される。



(Ⅰステージ保護者感想)

準備を頑張る4年生のリーダーシップや活躍に感心した。

(Ⅱ・Ⅲステージ保護者感想)

5~9年生が一体になって体育大会を成功させようとする姿に感動した。

- ・9年間を見通した系統性のある学び(総合的な学習)

系統的な平和学習で、国際社会の平和や発展に貢献する資質を育成する。



【6年生校外学習 平和記念公園】



【9年生修学旅行 知覧特攻平和会館】

(2) 教職員の取組

前期・後期課程※教師間で、系統性をつながり意識した熟議の場を設定する。

①校務分掌上の共通理解を図る熟議

※前期課程(1~6年生) 後期課程(7~9年生)

- ・防災教育、学園会活動、安全教育など前期・後期課程担当教師間で共通理解を図り、子ど

もの発達段階に応じたためあてを設定し、指導方法の共有を図る。

②子どもの実態把握のための熟議

- ・QUに見られる子どもの情報を共有し、生徒指導や学級づくりに役立てる。
- ・全国学力学習状況調査結果を分析し、今後の取組に活かす。

③学級経営・授業研究のための熟議

- ・教職員一人ひとりが「研究テーマ」をもち、「9年間を見通した系統ある学び」について研究を深める。
- ・学級経営案を作成し、育てたい子ども像をイメージした取組を進める。
実際の学園生の姿（R）→目標の設定（P）→目標達成のための方策（D）→
評価（C）→課題（A）（RPDCA サイクル）

④「授業づくり部会」と「つながる力づくり部会」※における熟議

※全教職員が「学びの向上」と「つながる力の育成」の2つの観点で部会に分かれ、研究を進める。

- ・授業づくり部会の提案をもとに、自ら学ぶ力を身につけさせる。
Ⅰステージ（1～4年生）学び方の基礎・基本を習得する。
Ⅱステージ（5～7年生）自ら学ぶ方法・話し合いの方法を取得する。
Ⅲステージ（8・9年生）自ら考え・学び合い・発信する
- ・9年間を通した家庭学習の手引き（別紙）を活用し、発達段階に応じて自ら進んで学習する態度を育成する。
- ・つながる力づくり部会の提案をもとに、人とつながる力を身につけさせる。
Ⅰステージ（1～4年生）自分の良さを発見し、人とつながる力を育成する。
Ⅱステージ（5～7年生）人とつながり協働する力を育成する。
Ⅲステージ（8・9年生）人とつながり折り合いをつけ、高め合う。
- ・取組を振り返るための視点

- ・主体的に研究に関われたか。（こんな児童・生徒をめざしたい、このような手立て・取組はどうかと考える姿勢があったか）
- ・自分以外の教員の考えから学ぶ姿勢をもって考えを更新したり、深めたりできたか。
- ・今、行っている授業や活動が他のステージとつながることを意識して考えられたか。

- ・学校評価（中間）をもとに、指導の改善を図る。

生きて働く力、他者とつながる力、健康な心身安全意識、心通う集団づくり、特別支援教育、保護者との連携、働きやすい職場環境づくりの項目ごとに成果と課題を明らかにし、2学期後半からの教育実践に活かす。

（成果）

- ・研修などを通じて、9年間を通した学びを生かした授業づくりについて全員で考えることができた。
- ・体育大会に向けて、中央委員・体育部長を中心とした実行委員が、夏休みからの準備や計画を通して、生徒主体で練習することができた。
- ・困ったことカードや教育相談の実施により、悩みを発見し、対応することができた。

(3) 学校運営協議会の取組

学校・家庭・地域の連携強化を目指す場
東条学園生に求める姿について熟議の場
地域学校協働活動への理解と協力依頼



【熟議の場】

学校で、地域の人から学ぶ場や地域の人と共に活動する場の提案

【学校運営協議会委員から出た意見（学園生に求める姿）】

- ・子どもが考えを出し合える場面づくりに期待している。上級生にはリーダー性を発揮させるなど、学年に応じた成長を期待している。
- ・一貫校ならではの活動に期待している。9学年全員が集まる場や行事で子どもを育ててほしい。
- ・前期課程の通学班は、班長・副班長が下級生を連れていき、道路を横断する際、停車していただいた車両運転者には、お礼のお辞儀をする場面を見かけて、大変うれしい。あいさつは不十分であると感じることもあるので、私たち地域から積極的にあいさつしたい。

2 今後の課題

①教職員間のより一層の連携を図る。

3学期から前期・後期課程の教職員が同じ校舎・職員室で、共に教育活動に取り組むことで、より一層の情報共有と連携が生まれ、さらなる子どもの育ちが期待される。

②子ども同士のつながりを深める活動をより一層推進し、つながる力をつける。

学校行事をはじめとして、日常的な学習活動、学園会活動によって子ども同士のつながりを深めていく。4・3・2のステージ制を活かして、子どもの自治活動を活発化させ、リーダーシップとフォロアーシップを育む。

③校内研修をより一層充実させていくことで教職員の資質向上を図っていく。

小中一貫教育をよりよいものにしていくための研修を充実させていく。

- ・先進校から学ぶ。
- ・校内授業研究から学ぶ。

※教育委員会は、その成果を市内の小中学校に広めていく。

④滝野地域・社地域の小中一貫教育を充実させていく。

小中学校の教師間の交流と研究をより一層推進していく。

- ・出前授業・小中合同教科担当者授業研究
- ・カリキュラムの見直し
- ・小中間のQU研修
- ・生徒指導の情報交換
- ・かとう学の活用



【児童の感想】

中学校の先生に来ていただいて、すごく分かりやすく教えてくださいました。いい作品ができたと思います。

【出前授業】

⑤小中一貫教育との関連について（長期的・継続的に検証していく必要があるもの）

- ・学力の向上、不登校児童・生徒数、児童生徒の問題行動件数、教職員の超過勤務

小中一貫教育は、より良い教育を実現するための手段であって、それ自体が目的ではない。今後、教育委員会は、東条学園と小中一貫教育の取組の成果と課題を共有し、より良い教育の実現に向けて、学園とともに取り組む。

東条学園 (1) 家庭学習の手引き

東条学園	第Ⅰステージ		第Ⅱステージ		第Ⅲステージ			
	1年・2年		3年・4年		5年・6年		7年・8年・9年	
保護者の関わり	一緒に学習してやる気にさせる時期				見守り励まして伸ばす時期		よく話を聞き、自分の生き方を考えさせる時期	
ベース = 認めてほめて自信を持たせる								
家庭学習で培いたい力	基本的な学習習慣を身につける		自分から学習に取り組む		計画を立てて進んで学習に取り組む		進路決定に向けて目標を持ち、努力する	
平日の家庭学習時間のめやす	20分～30分		45分～60分		75分～90分		120分～180分	
<p>ご★さ★に★ 協義わし得切 力を教いやし お育学大にし 願卒学切いた い業をし学習 しませたいの にでては内心 す。確か内容 なげ容得は なては少学校 学力だしす さつづつ出 自分を変わ る力を子と もだちが身 につけられ るよう、学 校と家庭が 協力して頑 張りませし ょう。</p>	<p>学習の心得：学習の「かきくけ運動」</p> <p>①かんきょうづくり…つくえの上をせいりしよう。 よいしせいで学しゅうしよう。 ②きそく正しい生活…早ね・早おき、朝ごはん。 ③くちと耳と手をフルかつよう …ことばのまとまりに気をつけよう。 大きな声で、はっきり読もう。 大きく、こい字を書こう。 ④けいかくてきな学習 …めやすの時間のうちにしゅくだいをおわらせよう。 ⑤こつこつどりよく …文字や計算のれんしゅうをこつこつがんばろう。</p> <p>視写の速さのめやす(1分間) 15～20字 (1年1学期…10字)</p> <p>しゅくだいをするときにがんばること</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の練習…書きしゅんやとめ・はらいなどに気をつけて書こう。形をととのえて正しく書こう。 計算の練習…10になる組み合わせの数(補数)をおぼえよう。(1年生) くりかえしれんしゅうしよう。(共通) かけ算九九を正かくにおぼえよう。(2年生) <p>※正かくにはやくできるようにがんばろう!</p> <p>しゅくだいができたら、やってみよう</p> <p>絵日記や日記をかいてみよう ・おもしろいことや先生や友だちに知らせたいことを書こう。</p> <p>かんさつをしたりしらべたりしてみよう ・きせつをかんじるものをさがしてみよう。 ・こうみんかんやしょうぼうきくこはどこにあるかな?</p> <p>チャレンジしてみよう ・絵をかく。 ・なわとびをする。 ・けんぱんハーモニカのれんしゅうをする。 など</p>		<p>学習の心得：学習の「かきくけ運動」</p> <p>①かんきょうづくり …つくえの上を整理して、よいしせいで学習しよう。 ながら勉強はやめよう。 ②きそく正しい生活…早ね・早起き、朝ごはん。 ③くちと耳と手をフル活用 …だん落のまとまりや場面に気をつけてはりのある声で読もう。 ていねいな文字で、見やすいノートづくりをしよう。 ④けいかくてきな学習 …めやすの時間内に宿題を終わらせよう。 あまった時間の使い方をくふうしよう。 ⑤こつこつ努力 …辞書の使い方やローマ字、地図記号や都道府県名の暗記など、新しい学習にも力を入れてがんばろう。</p> <p>視写の速さのめやす(1分間) 20～30字</p> <p>しゅくだいをするときにがんばること</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の練習…書き順やとめ、はらいなどに気をつけよう。形を整えてていねいに書こう。 計算の練習…わり算や分数、小数の計算などが始まります。計算のしかたに気をつけよう。正かくにはやく計算できるようになろう。 <p>※辞典を使った意味調べや都道府県名の暗記など、これまでになかった宿題も出されます。始めはむすかしく感じるけれど、なればだいじょうぶ! めんどくがらずにがんばろう!</p> <p>しゅくだいができたら、やってみよう</p> <p>日記を書いてみよう ・知らせたいことの中心を気をつけて、「初め・なか・終わり」の組み立てで書けるように練習してみよう。</p> <p>学習のふく習やまとめをしてみよう ・算数なら、分数や小数、新しい単位や図形の名前などのまとめやふく習に力を入れよう。 ・単元が終わったあとに、その単元で大切だったことをノートにまとめてみよう。(理科・社会も大切にしよう)</p> <p>※どうしたら、新しいことをきちんと覚えらるだろう。自分なりにくふうをしだり計画を立てたりして学習する練習をしよう。</p>		<p>学習の心得：学習の「かきくけ運動」</p> <p>①かんきょうづくり …整理整頓と心を心がけ、学習にふさわしい環境を作ろう。 ながら勉強はやめよう。 ②きそく正しい生活…早寝・早起き、朝ごはん。 ③くちと耳と手をフル活用 …音読は国語のみならず! どの教科でも重要語や内容を理解しながら、張りのある声で読もう。 学習したことがよく分かるノートになるよう工夫しよう。 ④けいかくてきな学習 …めやすの時間内に宿題を終わらせよう。 余った時間の使い方や学習内容を工夫しよう。 ⑤こつこつ努力 …漢字や計算の練習に加えて、同じ読み方の言葉や慣用語、単位の換算、理科・社会の内容の理解と暗記などにも力を入れてがんばろう。</p> <p>視写の速さのめやす(1分間) 40～50字</p> <p>しゅくだいをするときにがんばること</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出漢字だけでなく、使い方や熟語など、これまでに学んだことと結びつけながら学習しよう。 四則計算や小数・分数の計算など、計算の仕方に気をつけて、正確に速く計算できるようにしよう。 <p>※宿題の量はこれまでより格段に多くなるけれど、それはみんなも同じ。弱い心に負けないで、こつこつがんばろう!</p> <p>しゅくだいができたら、やってみよう</p> <p>日記や意見文を書いてみよう ・身の回りのできごとから感じたことを日記や意見文にまとめてみよう。自分の主張をどこに入れるかで「頭括型」「尾括型」「双括型」などの型ができます。</p> <p>学習の定着を目指そう ・簡潔に分かりやすくまとめ、繰り返し覚えよう。 ※興味をもったことをくわしく調べるのもおもしろい。</p> <p>苦手な学習を克服しよう ※苦手は誰にでもある。自分の苦手を知って、繰り返し練習したり、まとめたり、カードに書いたり、自分に合った方法で克服していこう。 (比・比例と反比例・割合・速さ・単位換算・天気など)</p>		<p>学習の心得：学習の「かきくけ運動」</p> <p>①かんきょうづくり …学習の雰囲気をつくろう。 ②きそく正しい生活 …生活のリズムを整えよう。 ③くちと耳と手をフル活用 …体全体を使って学習をしよう。 ④けいかくてきな学習 …計画を立てよう。 ⑤こつこつ努力 …継続が実力につながる!</p> <p>課題に取り組むときのポイント</p> <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題や課題に取り組む。(全) 授業で使ったプリントやノートを見直し、内容を振り返る。(全) 授業で習った問題をもう一度解いてみる。(全) 学習内容を自分なりにノートにまとめ直す。(全) ワークや問題集の問題を解いてみる。(全) 重要語句や公式、基本文型を覚える。(数・英) 教科書をすらすら読めるまで音読する。(国・英) 英文を暗唱し、書けるように練習する。(英) <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を3回以上読み、わからない所をチェックしておく。(全) 新出漢字や難しい言葉を辞書で調べておく。(国・社・理) 新出単語の意味調べをし、本文を自分なりに訳してみる。(国・英) 実験や観察がある場合には、目的と手順を確認しておく。(理) <p>ステップ・アップ学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字・英単語の暗記…声に出しながら何度も書いて覚える。 中学校総復習・高校入試対策学習…繰り返し何度も計画的に学習する。 検定試験にチャレンジ…漢字検定・英語検定・数学検定・歴史検定など。 	

まず、きちんと机で学習させてください。30分間、集中し続けることには、まだ無理があります。宿題と自主学習の間には、適度な休憩をはさんだり、学習内容に変化をつけたりして興味が続くような工夫が大切です。家庭学習が楽しいものになるように、励ましや声掛け、賞賛をお願いします。

<その他の自主学習例>

- 読書
- 図鑑を見る
- 言葉集め
- 視写(詩や文章などの写し書き)
- 計算カード、百マス計算
- 家事のお手伝い など

学習内容が難しくなり、量も増えます。低学年以上の励ましをお願いします。見守りながらも、一人で頑張れる時間が長くなるように導いてあげてください。

<その他の自主学習例>

- 辞書を使ったの意味調べや漢字調べ(同じ読み方の字・熟語など)
- ローマ字日記やローマ字の言葉集め
- 地図記号のカード→家族や友だちとカード取り
- 日本地図のパズル
- 観察・記録・スケッチなど
昆虫、植物、月や星…

学習量が一段と増えます。つい、テレビを見ながら、音楽を聴きながら…などの「ながら勉強」になりがちですが、適度な休憩を上手に取る練習をさせてください。自分にとって効率的な学習スタイルを見つけたり作ったりすることが、中学生になって限られた時間をうまく活かすことにつながります。

<その他の自主学習例>

- 古典や漢文の視写
- 同音異字や同音異義語、慣用語などのまとめ
- 図形や単位のまとめ、比や割合、速さなどの練習問題
- グラフからわかることをまとめる練習(資料活用能力)
- 歴史の時代や出来事、人物、文化の特徴などをまとめる
- 自作の問一答問題集作り など

部活動が始まり、疲れのために生活リズムが崩れやすくなりがちです。心身の健康面で、一層のサポートをお願いします。また、第Ⅰ・Ⅱステージ(1～6年生)と違って、必ずしもワークや問題集の宿題が毎日出されるわけではありません。テスト前になってあわてないように、自分で計画的に学習を進める必要性を自覚させてください。また、各教科担任から様々な形で渡される、数多くのプリントの整理も大切です。

家庭学習の手引き

